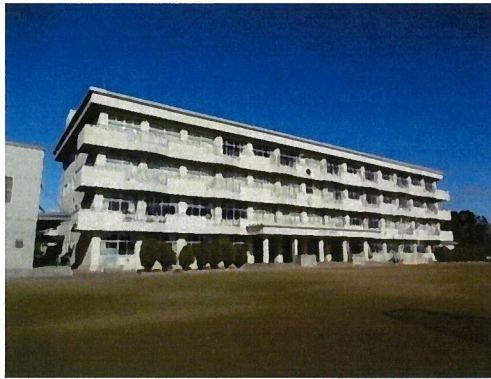


大郷町

大郷中学校長寿命化計画

(概要版)



平成31年3月

一般財団法人 宮城県建築住宅センター

大郷中学校長寿命化計画

目次

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等			
① 背景	様式 1-1	P	1
② 目的	様式 1-1	P	1
③ 計画期間	様式 1-2	P	2
④ 対象施設	様式 1-2	P	2
(2) 学校施設の目指すべき姿	様式 2	P	3
(3) 学校施設の実態			
① 学校施設の運営状況・活用状況等の実態			
1) 対象施設一覧	様式 3-1	P	5
2) 生徒数及び学級数の変化	様式 3-2	P	6
3) 学校施設の配置状況	様式 3-3	P	7
4) 学校関連経費の推移	様式 3-4	P	9
5) 学校施設の保有量	様式 3-5	P	10
6) 今後の維持・更新コスト（従来型）	様式 3-5	P	12
② 学校施設の老朽化状況の実態			
1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体 以外の劣化状況等の評価	様式 3-6	P	13
a. 構造躯体の健全性の評価			
b. 構造躯体以外の劣化状況等の評価			
2) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）	様式 3-7	P	30
(4) 学校施設整備の基本的な方針等			
① 学校施設の規模・配置計画等の方針			
1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針	様式 4-1	P	31
2) 学校施設の規模・配置計画等の基本方針	様式 4-2	P	35
② 改修等の基本的な方針			
1) 長寿命化の方針	様式 4-3	P	36
2) 目標使用年数、改修周期の設定	様式 4-3	P	37
(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等			
① 現行の仕様	様式 5	P	38
② 改修等の整備水準		P	41
③ 維持管理の項目・手法等		P	42
(6) 長寿命化の実施計画			
① 改修等の優先順位付けと実施計画	様式 6-1	P	44

〔 以下省略 〕

(1) 学校施設の長寿命化計画の背景・目的等

① 背景

大郷町は、宮城県のほぼ中央部に位置し、吉田川流域に豊かな水田地帯がり、のどかな田園風景を臨むことができる自然豊かな町です。

町の人口は、昭和60年にピーク（10,465人）を迎えた後、年々減少を続け、現在は8,120人程となっています。あわせて生徒数も年々減少を続け、平成20年には、生徒数に見合った規模の学校施設を構築するため、旧明星中学校と旧大沢中学校を統合して、現在の大郷中学校を開校しました。

大郷中学校の校舎は、昭和61年に建築された旧明星中学校の校舎を使用しているため、建築から33年を経過した現在は老朽化が目立ち、今後発生する修繕或いは建替え等にかかる予算への対応が喫緊の課題となっています。

また今日、学校を含む公共施設に対しては、多様な学習内容や指導形態に対応した高機能かつ多機能な教育空間の構築が求められることに加え、普通教室やトイレの生活空間の快適性や防災への準備、バリアフリーの充実、環境負荷の低減等、さまざまな見地からの要求に応えることが求められており、町は、これらの要求に的確に対応していくことが必要となります。

② 目的

町は、平成29年3月に「公共施設等総合管理計画」を策定し、所有する公共施設が適切な管理・運営、安全で快適な利用環境を実現させるため、以下の基本方針を示しました。

- a. 施設総量の適正化
- b. 施設機能の複合化等による効率的な施設の配置
- c. 予防保全の推進
- d. 計画的な長寿命化
- e. 維持管理費用の適正化
- f. 費用の縮減と平準化
- g. 民間活力の導入

本計画の策定にあたっては、学校施設の老朽化対策、教育環境の質的改善、環境対策を併せて実施する再生整備と予防保全による長寿命化を図るとともに、財政支出の縮減及び平準化を目指します。

③ 計画期間

本計画は、公共施設の寿命が数十年に及び、中長期的な視点が不可欠であることから、平成31年度（2019年度）から平成60年度（2048年度）までの40年間の将来推計に基づき策定し、5年ごとに見直しを行うこととします。

平成 年 ～ 平成 年 （ 年ごと見直し ）
 （ 2019 ） （ 2048 ）

④ 対象施設

大郷中学校											
学校調査番号	建物名	学校種別	建物用途	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築		建築年度		築年数
							西暦	和暦	西暦	和暦	
3824	校舎	中学校	校舎	RC	4	4,100	1986	S61.02	1985	S60	33
3824	屋内運動場	中学校	屋内運動場	RC	2	1,600	2008	H20.03	2007	H19	11
3824	部室	中学校	その他	W	1	32	1997	H09.03	1996	H8	22
3824	倉庫	中学校	その他	W	1	33	1986	S61.08	1986	S61	32
3824	女子更衣室	中学校	その他	W	1	27	1997	H09.03	1996	H8	22
3824	男子更衣室	中学校	その他	W	1	27	1997	H09.03	1996	H8	22
3824	機械室	中学校	その他	W	1	33	1997	H09.03	1996	H8	22

(2) 学校施設の目指すべき姿

I. 安全性

1. 災害対策（防災の拠点化）

1-1 地震に強い学校施設

① 非構造部材対策を実施する。

1-2 防災機能を備えた学校施設

① 屋内運動場にTV、TEL、LAN配線を整備する。

② 備蓄倉庫・浄水装置を整備する。

2. 防犯・事故対策

2-1 安全で安心な学校施設

① 転落のおそれのある窓に手摺を設置する。

② 防犯カメラを設置する。

II. 快適性

快適な学習環境

1-1 学習能率の向上に資する快適な学校環境

① 老朽化したトイレの改修を行う。

② 教室にエアコンを設置する。

③ 教室の内装を木質化する。

④ 校舎、屋内運動場を断熱化する。

1-2 バリアフリーに配慮した環境

① スロープ、多目的トイレを整備する。

1-3 生徒の学校への愛着や思い出につながり、また、地域の人々が誇りや愛着をもつことができる学校

1-4 子供たちや保護者等が教員を訪れやすい空間

2. 教職員に配慮した環境

2-1 教職員に配慮した空間

2-2 教職員等の事務負担軽減などのための校務の情報化に必要なICT環境

① 教職員同士のコミュニケーション促進のための休憩スペース等を設置する。

III. 学習活動への適応性

1. 効果的・効率的な施設整備

1-1 習熟度別指導や少人数指導などの、きめ細かい個に応じた指導を行うための空間

① 少人数指導のための空間を整備する。

1-2 調べ学習やチームティーチングなどの、多様な学習集団・学習形態を展開するための空間

2. 主体性を養う空間の充実

2-1 子供たちの自発的な学習や読書活動を促すための環境

2-2 子供たちや保護者等が教員を訪れやすい空間

2-3 社会性を身につけるための空間

3. 理数教育の充実

3-1 充実した観察・実験を行うための空間

① 観察や屋外作業等に使用できるよう理科室に連続させ、テラス等を整備する。

4. 言語活動の充実

4-1 各教科等における発表・討論などの教育活動を行うための空間

① 複数クラス合同での発表会などが行えるよう多目的なスペースを整備する。

4-2 各教科等の授業の中での調べ学習や協働学習、観察・実験のまとめや生徒の成果発表などに活用して学習効果を高めるためのICT環境

① 普通教室・特別教室にプロジェクタを設置する。

ICT： ICT（情報通信技術）とは、PCだけでなくスマートフォンやスマートスピーカーなど、さまざまな形状のコンピュータを使った情報処理や通信技術の総称

5. 運動環境の充実

5-1 充実した運動ができる環境

6. 伝統や文化に関する教育の充実

6-1 伝統や文化に関する教育を行うための環境

① 茶道などを体験するための和室を整備する。

7. 外国語教育の充実

7-1 外国語教育のグループ活動等において、生徒が積極的にコミュニケーションを図ることができるような空間

8. 学校図書館の活用

8-1 調べ学習や習熟度別学習、チームティーチングなどの多様な学習集団、学習形態を展開するための空間

8-2 地域の生涯学習の拠点となる空間

9. 特別支援教育の推進

9-1 バリアフリーに配慮した環境

10. 環境教育の充実

10-1 地球環境問題への関心を高めるためのエコスクール

① 環境に活用できるよう断熱等の省エネルギー対策の「見える化」を行う。

② 新エネルギー設備を利用した学習や自然観察の体験等を通し、持続可能な社会の実現について考えるための環境を整備する。

IV. 環境への適応性

1. 環境を考慮した学校施設

① 太陽光発電設備を設置する。

② 校舎、屋内運動場の断熱化を図る。

V. 地域の拠点化

1. 地域に開かれた学校とするための環境

① 他の文教施設や老人福祉施設等との連携複合化を図る。

② 特別教室を地域開放できるよう整備する。

③ 郷土学習・地域行事・学びによるまちづくりを活性化することができる環境を整備する。

④ 放課後子供教室・家庭教育活動を支援できる環境の整備を図る。

⑤ まちづくりの拠点となる空間の整備を図る。

(3) 学校施設の実態

① 学校施設の運営状況・活用状況の実態

1) 対象施設一覧

本町には、中学校 1 校（大郷中学校）、小学校 1 校（大郷小学校）及び給食センター 1 所の義務教育施設があります。義務教育施設全体の延床面積は 11,618.8㎡であり、そのうち中学校施設（5,852㎡：校舎、屋内運動場、部室、倉庫等）は、義務教育施設面積の約 50%を占めています。

現在の大郷中学校は、平成 20 年に、旧明星中学校と旧大松沢中学校を統合して開校され、昭和 61 年に建築された旧明星中学校の校舎を使用しています。

大郷町公共施設（建築物）の用途分類別保有数量

施設番号	施設の用途	具体的な施設の例	施設数	棟数	延床面積	
					(㎡)	(%)
1	行政系施設	役場	1	3	3,015.3	5.6
2	文化・集会施設	公民館、文化会館等	26	29	6,016.0	11.2
3	スポーツ施設	体育館等	4	9	7,153.6	13.3
4	保健福祉施設	老人ふれあいの家等	2	2	840.7	1.6
5	義務教育施設	小学校、中学校等	3	16	11,618.8	21.6
6	その他教育施設	社会教育センター	1	7	1,677.8	3.1
7	子育て支援施設	すくすくゆめの郷	1	4	1,920.2	3.6
8	公営施設	町営住宅	5	42	7,327.2	13.6
9	その他（倉庫・車庫）	住民バス事務所等	24	24	503.0	0.9
10	その他（その他）	普通財産	13	40	8,709.7	16.2
11	産業系施設	開発センター等	3	13	3,560.8	6.6
12	上水道施設	浄水場、配水池	13	15	943.7	1.8
13	下水道施設	処理施設	1	1	443.5	0.8
計			97	205	53,730.3	100.0

大郷中学校棟別面積表

施設番号	施設の用途	構造	階数	建築年	延床面積		
					(㎡)	(%)	
1	校舎	鉄筋コンクリート造	4	S61.2	4,100	70.08	
2	屋内運動場	鉄筋コンクリート造	2	H20.3	1,600	27.34	
3	部室	木造	1	H09.3	32	0.54	
4	倉庫	木造	1	S61.8	33	0.56	
5	プ	女子更衣室	鉄筋コンクリート造	1		27	0.46
		男子更衣室	鉄筋コンクリート造	1		27	0.46
	ル	機械室	木造	1		33	0.56
小計					87		
計					5,852	100.00	

2) 生徒数及び学級数の変化

大郷中学校の生徒数は、平成30年11月現在196人（8学級、特別学級2を含む）です。生徒数のピークは、平成4年（419人）で、現在はピーク時の約47%、平成49年の推計では43%となります。

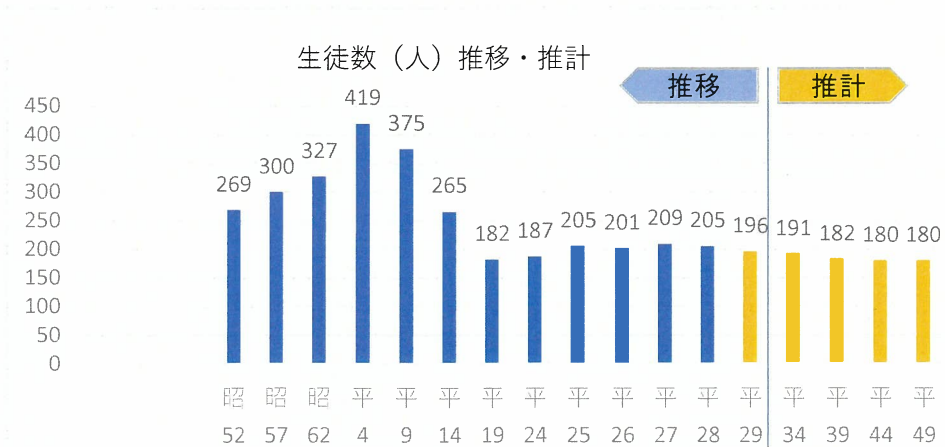
大郷中学校生徒数推移 (過去統計)

年度	1977	1982	1987	1992	1997	2001	2006
	昭52	昭57	昭62	平4	平9	平14	平19
生徒数（人）	269	300	327	419	375	265	182
学級数（普・特）	8 1	10 1	9 1	14 2	12 1	11 2	8 2
年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	
	平24	平25	平26	平27	平28	平29	
生徒数（人）	187	205	201	209	205	196	
学級数（普・特）	6 2	6 3	6 3	7 3	6 2	6 2	

大郷中学校生徒数将来推計 (大郷町)

年度	2022	2027	2032	3037
	平34	平39	平44	平49
生徒数（人）	191	182	180	180
学級数（普・特）	6 2	6 2	6 2	6 2

生徒数（人）推移・将来推計



3) 学校施設の配置状況

本町の将来人口は、「大郷町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の「創生人口ビジョン（平成28年2月策定）」において、平成52（2040）年には、7,136人まで減少すると推計しています。

また、平成52年（2040）年における人口構成は、年少人口が858人（12.0%）生産年齢人口が3,622人（50.8%）、老年人口が2,656人（37.2%）と推計しています。

大郷町年齢別人口推移（国勢調査）

年	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平27
総数（人）	10,172	10,465	10,426	10,220	9,768	9,424	8,927	8,370
年少人口（15歳未満）	2,174	2,432	2,316	1,798	1,316	1,074	982	962
生産年齢人口（15～64歳）	6,809	6,667	6,412	6,288	6,049	5,802	5,384	4,670
老年人口（65歳以上）	1,189	1,366	1,698	2,134	2,403	2,548	2,561	2,738

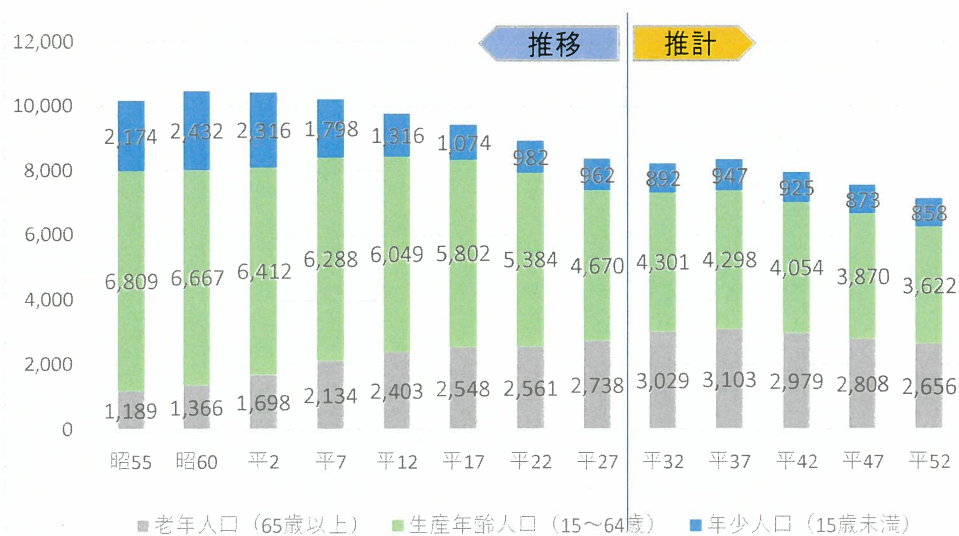
大郷町年齢別人口将来推計（大郷町公共施設等総合管理計画）

（人）

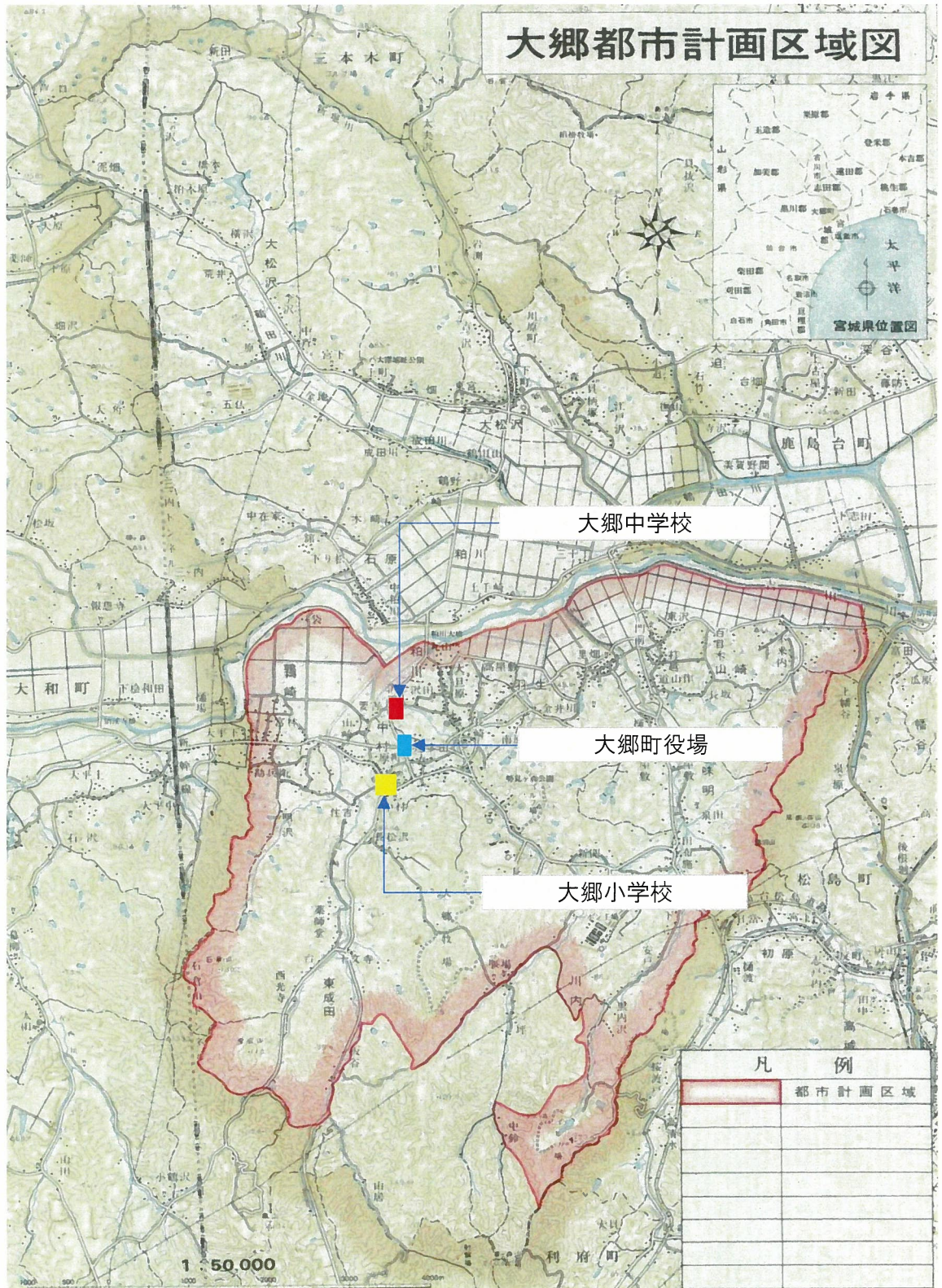
年	平成22年	平成27年	平成32年	平成37年	平成42年	平成47年	平成52年
総数（人）	8,927	8,425	8,222	8,348	7,958	7,551	7,136
年少人口（15歳未満）	982	903	892	947	925	873	858
生産年齢人口（15～64歳）	5,384	4,777	4,301	4,298	4,054	3,870	3,622
老年人口（65歳以上）	2,561	2,745	3,029	3,103	2,979	2,808	2,656

年齢別人口の推移・将来推計

（人）



学校の配置状況



4) 施設関連経費の推移

平成24年～29年度の5年間の大郷中学校施設関連経費は、約5百万円～1千7百万円で、6年間の平均は約8千百万円/年となります。

施設関連経費（大郷中学校）

（千円）

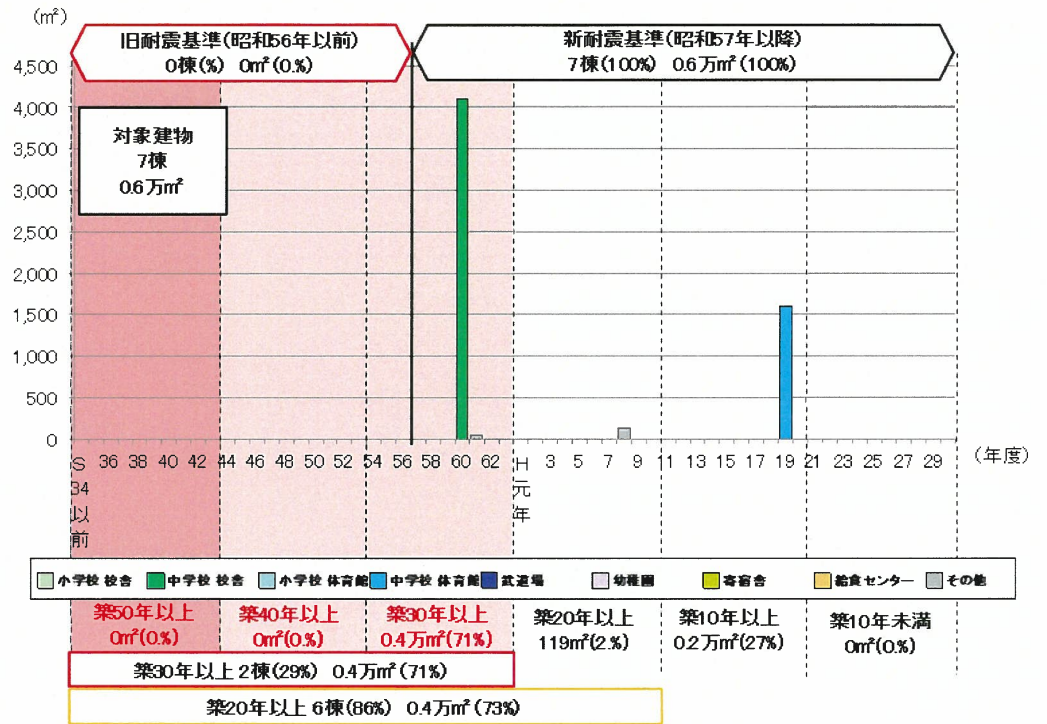
項目	部位	年度						計
		H24	H25	H26	H27	H28	H29	
施設整備費	校舎	0	0	7,470 PC室タイル カーペット 修繕	0	4,212 校舎屋上 防水シート 修繕 972 LAN配線 修繕	0	12,654
	体育館	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	7,470	0	5,184	0	12,654
その他施設整備費	プール	0	0	0	0	0	0	0
	部室	0	0	0	0	0	0	0
	倉庫	0	0	0	0	0	0	0
	共用設備 (受変電、受水、排水)	0	0	0	177	0	0	177
	グラウンド	0	0	3,575 グラウンド 整備	0	0	0	3,575
	小計	0	0	3,575	177	0	0	3,752
維持修繕費		772	1,028	941	1,045	1,091	824	5,701
		年平均額 950 千円/年						
光熱水費・委託費等		4,609	3,964	4,854	4,367	4,215	4,636	26,645
		年平均額 4,440 千円/年						
計		5,381	4,992	16,840	5,589	10,490	5,460	48,752
		年平均額 8,130 千円/年						

5) 学校施設の保有量

a. 対象施設の経年、棟数、延床面積

大郷中学校は7棟の建物を保有し、延床面積の合計は5,852㎡です。そのうち、校舎(4,100㎡)と倉庫(33㎡)の2棟が、建築年から30年以上を経過しており、その面積合計は、大郷中学校全体の70.6%程となっています。

築年別整備状況



b. 耐震基準区分

保有施設(7棟)には、旧耐震基準(昭和56年以前)の建物は無く、全ての建物が新耐震基準の建物となっています。

 建築年から30年を経過した建物

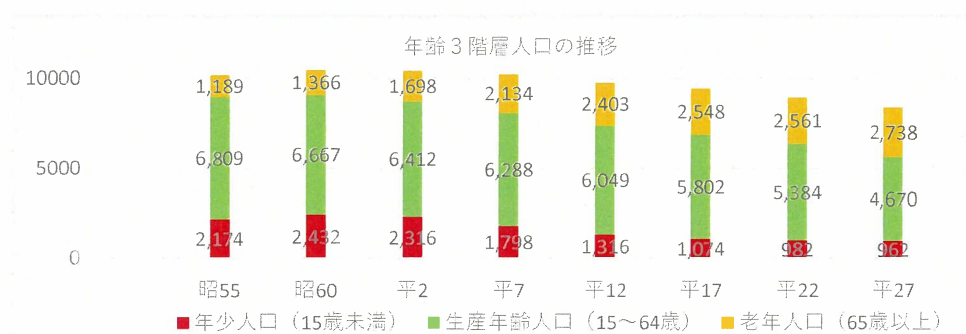
建物基本情報													
通し番号	施設名	建物名	用途区分	構造	階数	延床面積(㎡)		建築年		建築年度		耐震基準	
			建物用途					西暦	和暦	西暦	和暦		
1	大郷中学校	校舎	校舎	RC	4	4,100	70.0%	1986.02	S61.02	1985	S60	33	新
2	大郷中学校	屋内運動場	屋内運動場	RC	2	1,600	27.3%	2008.03	H20.03	2007	H19	11	新
3	大郷中学校	部室	その他	W	1	32	0.5%	1997.03	H09.03	1996	H8	22	新
4	大郷中学校	倉庫	その他	W	1	33	0.6%	1986.08	S61.08	1986	S61	32	新
5	大郷中学校	女子更衣室	その他	W	1	27	0.5%	1997.03	H09.03	1996	H8	22	新
6	大郷中学校	男子更衣室	その他	W	1	27	0.5%	1997.03	H09.03	1996	H8	22	新
7	大郷中学校	機械室	その他	W	1	33	0.6%	1997.03	H09.03	1996	H8	22	新
計						5,852	100.0%						

c. 年齢3階層人口と生徒数の推移

町の人口は、昭和60年の10,465人をピークに年々減少し、現在は8,126人（平成30年12月）となり、併せて、平成4年当時に412人だった生徒数も年々減少し、現在では196人程となっています。

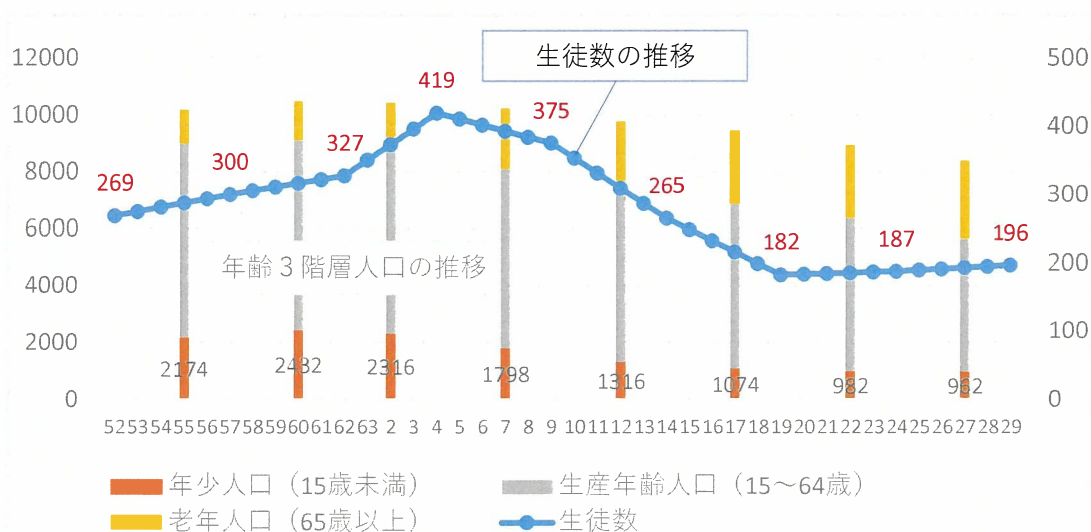
年齢3階層人口の推移（国勢調査）

年	昭55	昭60	平2	平7	平12	平17	平22	平27
総数（人）	10,172	10,465	10,426	10,220	9,768	9,424	8,927	8,370
年少人口 （15歳未満）	2,174	2,432	2,316	1,798	1,316	1,074	982	962
生産年齢人口 （15～64歳）	6,809	6,667	6,412	6,288	6,049	5,802	5,384	4,670
老年人口 （65歳以上）	1,189	1,366	1,698	2,134	2,403	2,548	2,561	2,738



生徒数推移（過去統計）

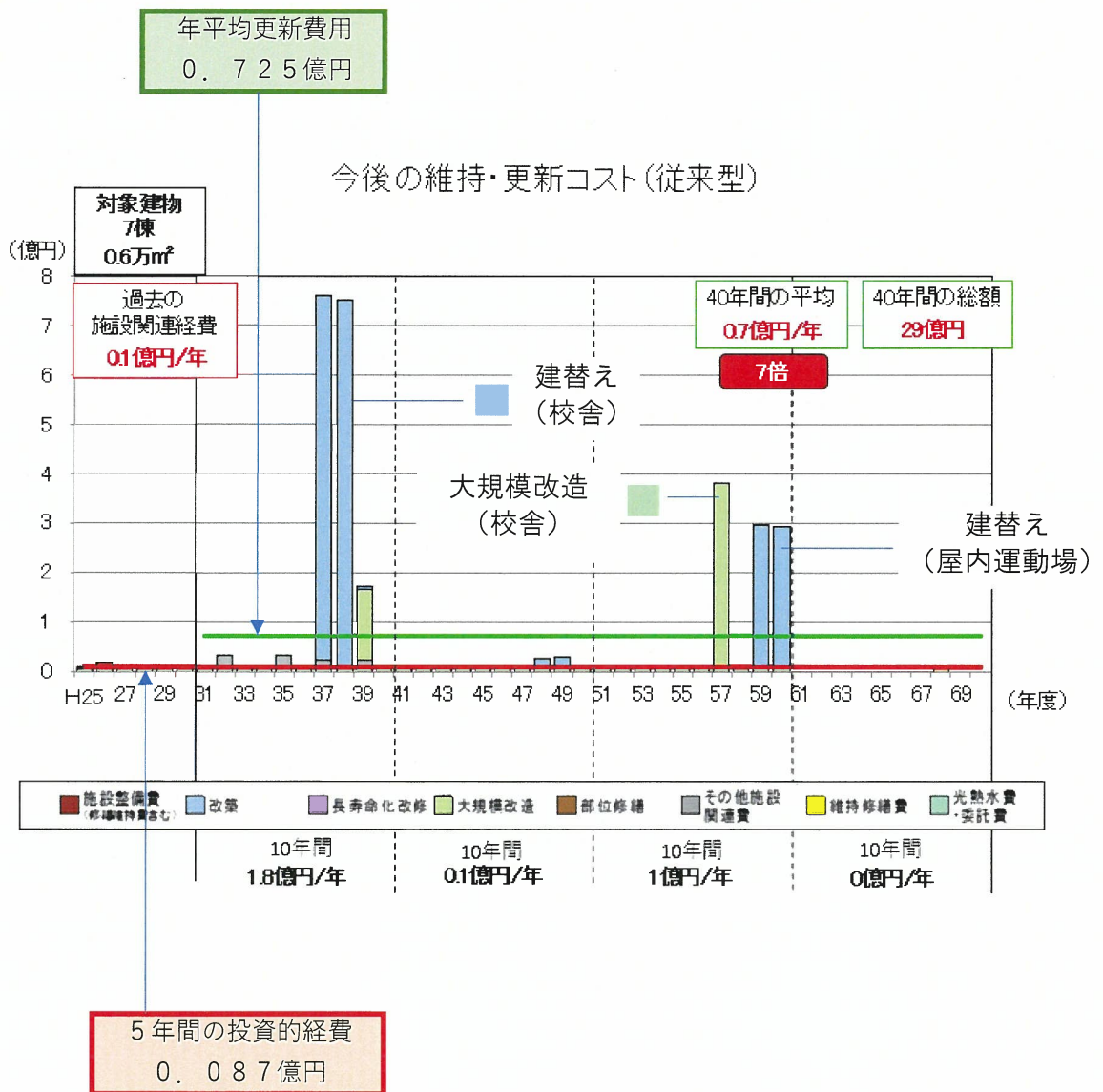
年度	1977		1982		1987		1992		1997		2001		2006	
	昭52	昭57	昭62	平4	平9	平14	平19							
生徒数（人）	269	300	327	419	375	265	182							
学級数（普・特）	8 1	10 1	9 1	14 2	12 1	11 2	8 2							
年度	2012		2013		2014		2015		2016		2017			
	平24	平25	平26	平27	平28	平29								
生徒数（人）	187	205	201	209	205	196								
学級数（普・特）	6 2	6 3	6 3	7 3	6 2	6 2								



6) 今後の維持・更新コスト（従来型）

建築後40年で建替えを行うことを前提とした従来の修繕・改修を今後も続けた場合、今後40年間に必要となる維持・更新コストは29億円（0.725億円）となります。これは、直近5年間の投資的経費0.087億円をはるかに超える額となり、平成37年～39年度には校舎の建替えに15億円、平成59～60年度には屋内運動場の建替えに6億円が必要となります。

従来の建替え中心の整備を継続することは、町の財政を圧迫するものとなるため、今後の維持・修繕、建替え計画について、対応策を検討する必要があります。



学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省 平成29年3月）添付ソフトによるコスト算出

② 学校施設の老朽化状況の実態

1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

a. 構造躯体の健全性の評価

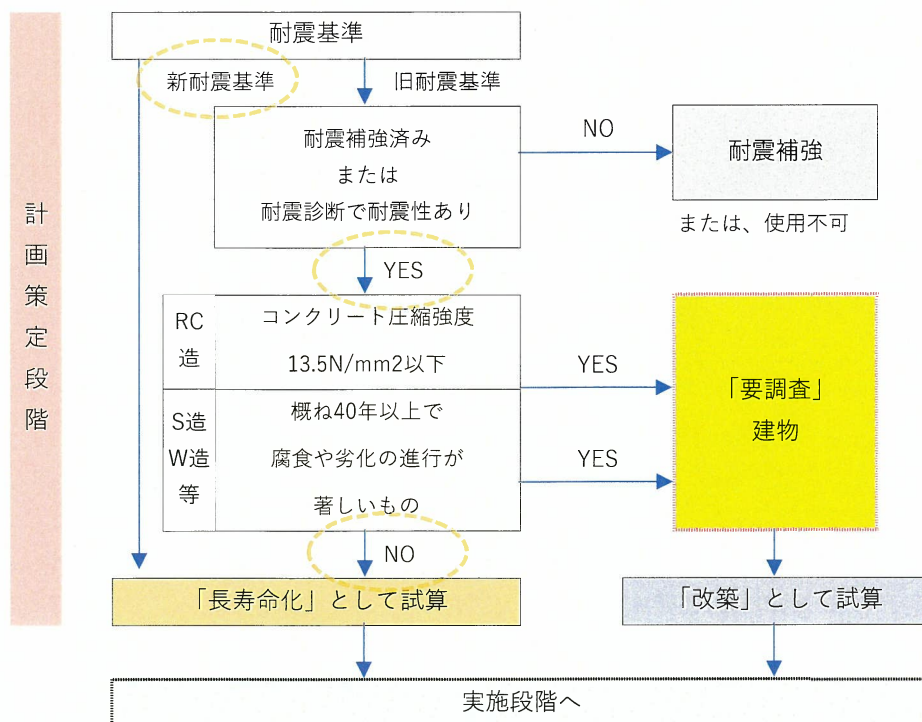
構造躯体の、計画段階での躯体の健全性による試算上の区分は、以下の指標により行います。

- 旧耐震基準の鉄筋コンクリート造の建物については、コンクリート圧縮強度が13.5N/mm²以下のもの、及び圧縮強度が不明なものは、「要調査」とし、試算上は「改築」とします。
- 旧耐震基準の鉄骨造、木造等の建物については、現地調査を基に判断し、概ね建築後40年以上で腐食や劣化の著しいものは「要調査」とし、試算上は「改築」とします。
- 上記以外は、試算上の区分を「長寿命化」とします。

大郷中学校 鉄筋コンクリート造建物一覧

建物名	構造	階数	延床面積 (㎡)	建築		建築年度		築年数	コンクリート設計基準強度 (Kg/㎡)
				西暦	和暦	西暦	和暦		
校舎	RC	4	4,100	1986	S61.02	1985	S60	33	210
屋内運動場	RC	2	1,600	2008	H20.03	2007	H19	11	210
部室	W	1	32	199	H09.03	1996	H8	22	210
倉庫	W	1	33	1986	S61.08	1986	S61	32	210
女子更衣室	W	1	27	1997	H09.03	1996	H8	22	210
男子更衣室	W	1	27	1997	H09.03	1996	H8	22	210
機械室	W	1	33	1997	H09.03	1996	H8	22	210

長寿命化判定フロー



通し 番号	建物名	建築年		築 年数	構造	構造躯体の健全性					
		西暦	和暦			耐震安全性			長寿命化判定		
						基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/mm ²)	試算上の 区分
1	校舎	1986	S61	33	RC	新耐震	-	-	平30	30.1	長寿命
2	屋内運動場	2008	H20	11	RC	新耐震	-	-	平30	32.5	長寿命
3	部室	1997	H9	22	W	新耐震	-	-	-	-	長寿命
4	倉庫	1986	S61	32	W	新耐震	-	-	-	-	長寿命
5	女子更衣室	1997	H9	22	W	新耐震	-	-	-	-	長寿命
6	男子更衣室	1997	H9	22	W	新耐震	-	-	-	-	長寿命
7	機械室	1997	H9	22	W	新耐震	-	-	-	-	長寿命

試算上の区分判定

構造躯体の健全性から判定する試算上の区分は、全ての建物において、「長寿命化」となります。

コンクリート圧縮強度試験値 ※シュミットハンマー試験

- 調査建物
- 調査結果

大郷中学校 校舎

調査位置	コンクリート圧縮強度(N/cm ²)	最小値
外壁東側	30.7	30.1
外壁南側	30.1	
外壁北側	31.8	

■ 30.1 (N/cm²) ≥ 21 (N/cm²)
構造躯体は、健全と評価します。

- 調査建物
- 調査結果

大郷中学校 屋内運動場

調査位置	コンクリート圧縮強度(N/cm ²)	最小値
外壁北側	32.5	32.5
外壁西側	33.8	
外壁南側	33.3	

■ 32.5 (N/cm²) ≥ 21 (N/cm²)
構造躯体は、健全と評価します。

コンクリート強度試験票

■ 調査建物 大郷中学校 校舎
 ■ 建築年 昭和61年
 ■ 調査位置 外壁東側
 ■ 反発度 (R) 補正

■ 日本建築学会式
 $F_c = 7.3R + 100$ (Kg/cm²)
 $F_c = 7.3 \times (R + \text{含水状態補正} + \text{打撃角度補正}) \times \text{材齢補正} + 100$
 $1N = 0.10197162$ (Kg)

含水状態補正

	気乾状態	補正值
<input checked="" type="checkbox"/>	南面気乾	+0
<input type="checkbox"/>	北面気乾	-1
<input type="checkbox"/>	圧痕黒色	+2
<input type="checkbox"/>	水掛かり	+3
<input type="checkbox"/>	準飽和	+4
<input type="checkbox"/>	湿潤	+5
	採用値	+0

打撃角度

+90	+45	+0	-45	-90

材齢補正

	材齢 (日)	補正值
<input type="checkbox"/>	10	1.20
<input type="checkbox"/>	20	1.04
<input type="checkbox"/>	28	1.00
<input type="checkbox"/>	50	0.98
<input type="checkbox"/>	100	0.95
<input type="checkbox"/>	150	0.91
<input type="checkbox"/>	200	0.86
<input type="checkbox"/>	300	0.78
<input type="checkbox"/>	500	0.70
<input type="checkbox"/>	1000	0.63
<input checked="" type="checkbox"/>	1000 以上	0.60
	採用値	0.60

打撃角度補正

反発度	傾斜角に対する補正值			
	+90	+45	-45	-90
R				
10	-	-	+2.4	+3.2
20	-5.4	-3.5	+2.5	+3.4
30	-4.7	-3.1	+2.3	+3.1
40	-3.9	-2.6	+2.0	+2.7
50	-3.1	-2.1	+1.6	+2.2
60	-2.3	-1.6	+1.3	+1.7

■ 測定値 (N/cm²)

測点	R 反発度	含水状態補正	打撃角度補正	材齢補正	(Kg/cm ²)	(N/cm ²)
1	7.3	×(+0)	×(-2.1)	×0.60	+100 = 309	31.5
2	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 301	30.6
3	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 287	29.2
4	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 303	30.8
5	7.3	×(+0)	×(-2.1)	×0.60	+100 = 309	31.5
6	7.3	×(+0)	×(-2.1)	×0.60	+100 = 314	32.0
7	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 292	29.7
8	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 298	30.3
9	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 298	30.3
10	7.3	×(+0)	×(-2.1)	×0.60	+100 = 314	32.0
11	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 298	30.3
12	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 303	30.8
13	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 305	31.1
14	7.3	×(+0)	×(-2.1)	×0.60	+100 = 309	31.5
15	7.3	×(+0)	×(-2.1)	×0.60	+100 = 309	31.5
16	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 298	30.3
17	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 303	30.8
18	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 298	30.3
19	7.3	×(+0)	×(-2.6)	×0.60	+100 = 294	29.9
20	7.3	×(+0)	×(-2.1)	×0.60	+100 = 309	31.5
				計	6,051	615.9
				平均値	302	30.7

■ コンクリート圧縮強度 30.7 N/cm²

コンクリート強度試験票

■ 調査建物 大郷中学校 校舎
 ■ 建築年 昭和 6 1 年
 ■ 調査位置 外壁南側
 ■ 反発度 (R) 補正

■ 日本建築学会式
 $F_c = 7.3R + 100$ (Kg/cm²)
 $F_c = 7.3 \times (R + \text{含水状態補正} + \text{打撃角度補正}) \times \text{材齢補正} + 100$
 $1N = 0.10197162$ (Kg)

含水状態補正

	気乾状態	補正值
<input checked="" type="checkbox"/>	南面気乾	+0
<input type="checkbox"/>	北面気乾	-1
<input type="checkbox"/>	圧痕黒色	+2
<input type="checkbox"/>	水掛かり	+3
<input type="checkbox"/>	準飽和	+4
<input type="checkbox"/>	湿潤	+5
	採用値	+0

打撃角度

↑	↖	←	↗	↓
+90	+45	+0	-45	-90

材齢補正

	材齢 (日)	補正值
<input type="checkbox"/>	10	1.20
<input type="checkbox"/>	20	1.04
<input type="checkbox"/>	28	1.00
<input type="checkbox"/>	50	0.98
<input type="checkbox"/>	100	0.95
<input type="checkbox"/>	150	0.91
<input type="checkbox"/>	200	0.86
<input type="checkbox"/>	300	0.78
<input type="checkbox"/>	500	0.70
<input type="checkbox"/>	1000	0.63
<input checked="" type="checkbox"/>	1000 以上	0.60
	採用値	0.60

打撃角度補正

反発度	傾斜角に対する補正值			
	+90	+45	-45	-90
R				
10	-	-	+2.4	+3.2
20	-5.4	-3.5	+2.5	+3.4
30	-4.7	-3.1	+2.3	+3.1
40	-3.9	-2.6	+2.0	+2.7
50	-3.1	-2.1	+1.6	+2.2
60	-2.3	-1.6	+1.3	+1.7

■ 測定値 (N/cm²)

測点	R 反発度	含水状態補正	打撃角度補正	材齢補正	(Kg/cm ²)	(N/cm ²)
1	7.3	×	(44.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 292	29.7
2	7.3	×	(44.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 292	29.7
3	7.3	×	(48.5 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 312	31.8
4	7.3	×	(46.5 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 303	30.8
5	7.3	×	(46.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 301	30.6
6	7.3	×	(46.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 301	30.6
7	7.3	×	(47.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 305	31.1
8	7.3	×	(46.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 301	30.6
9	7.3	×	(44.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 292	29.7
10	7.3	×	(47.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 305	31.1
11	7.3	×	(48.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 310	31.6
12	7.3	×	(45.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 297	30.2
13	7.3	×	(44.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 292	29.7
14	7.3	×	(44.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 292	29.7
15	7.3	×	(45.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 297	30.2
16	7.3	×	(42.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 283	28.8
17	7.3	×	(40.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 275	28.0
18	7.3	×	(43.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 288	29.3
19	7.3	×	(45.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 297	30.2
20	7.3	×	(45.0 + (+0) + (+0.0))	×	0.60 + 100 = 297	30.2
				計	5,932	603.6
				平均値	296	30.1

■ コンクリート圧縮強度 30.1 N/cm²

コンクリート強度試験票

■ 調査建物 大郷中学校 校舎
 ■ 建築年 昭和 6 1 年
 ■ 調査位置 外壁北側
 ■ 反発度 (R) 補正

■ 日本建築学会式
 $F_c = 7.3R + 100$ (Kg/cm²)
 $F_c = 7.3 \times (R + \text{含水状態補正} + \text{打撃角度補正}) \times \text{材齢補正} + 100$
 $1N = 0.10197162$ (Kg)

含水状態補正

	気乾状態	補正值
<input type="checkbox"/>	南面気乾	+0
<input checked="" type="checkbox"/>	北面気乾	-1
<input type="checkbox"/>	圧痕黒色	+2
<input type="checkbox"/>	水掛かり	+3
<input type="checkbox"/>	準飽和	+4
<input type="checkbox"/>	湿潤	+5
	採用値	+0

打撃角度

+90	+45	+0	-45	-90

材齢補正

	材齢 (日)	補正值
<input type="checkbox"/>	10	1.20
<input type="checkbox"/>	20	1.04
<input type="checkbox"/>	28	1.00
<input type="checkbox"/>	50	0.98
<input type="checkbox"/>	100	0.95
<input type="checkbox"/>	150	0.91
<input type="checkbox"/>	200	0.86
<input type="checkbox"/>	300	0.78
<input type="checkbox"/>	500	0.70
<input type="checkbox"/>	1000	0.63
<input checked="" type="checkbox"/>	1000 以上	0.60
	採用値	0.60

打撃角度補正

反発度	傾斜角に対する補正值			
	+90	+45	-45	-90
R				
10	-	-	+2.4	+3.2
20	-5.4	-3.5	+2.5	+3.4
30	-4.7	-3.1	+2.3	+3.1
40	-3.9	-2.6	+2.0	+2.7
50	-3.1	-2.1	+1.6	+2.2
60	-2.3	-1.6	+1.3	+1.7

■ 測定値 (N/cm²)

測点	R 反発度	含水状態補正	打撃角度補正	材齢補正	(Kg/cm ²)	(N/cm ²)
1	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 327	33.3
2	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 305	31.1
3	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 332	33.8
4	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 332	33.8
5	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 332	33.8
6	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 297	30.2
7	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 314	32.0
8	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 292	29.7
9	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 301	30.6
10	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 340	34.6
11	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 319	32.5
12	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 288	29.3
13	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 327	33.3
14	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 292	29.7
15	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 310	31.6
16	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 301	30.6
17	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 301	30.6
18	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 323	32.9
19	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 323	32.9
20	7.3	× (-1)	× (+0.0)	× 0.60	+ 100 = 305	31.1
				計	6,261	637.4
				平均値	313	31.8

■ コンクリート圧縮強度 31.8 N/cm²

コンクリート強度試験票

■ 調査建物 大郷中学校 屋内運動場 ■ 日本建築学会式
 ■ 建築年 平成20年 $F_c = 7.3R + 100$ (Kg/cm²)
 ■ 調査位置 外壁北側 $F_c = 7.3 \times (R + \text{含水状態補正} + \text{打撃角度補正}) \times \text{材齢補正} + 100$
 ■ 反発度 (R) 補正 $1N = 0.10197162$ (Kg)

含水状態補正

	気乾状態	補正值
<input type="checkbox"/>	南面気乾	+0
<input checked="" type="checkbox"/>	北面気乾	-1
<input type="checkbox"/>	圧痕黒色	+2
<input type="checkbox"/>	水掛かり	+3
<input type="checkbox"/>	準飽和	+4
<input type="checkbox"/>	湿潤	+5
	採用値	-1

打撃角度

+90	+45	+0	-45	-90

材齢補正

	材齢 (日)	補正值
<input type="checkbox"/>	10	1.20
<input type="checkbox"/>	20	1.04
<input type="checkbox"/>	28	1.00
<input type="checkbox"/>	50	0.98
<input type="checkbox"/>	100	0.95
<input type="checkbox"/>	150	0.91
<input type="checkbox"/>	200	0.86
<input type="checkbox"/>	300	0.78
<input type="checkbox"/>	500	0.70
<input type="checkbox"/>	1000	0.63
<input checked="" type="checkbox"/>	1000 以上	0.60
	採用値	0.60

打撃角度補正

反発度	傾斜角に対する補正值			
	+90	+45	-45	-90
R				
10	-	-	+2.4	+3.2
20	-5.4	-3.5	+2.5	+3.4
30	-4.7	-3.1	+2.3	+3.1
40	-3.9	-2.6	+2.0	+2.7
50	-3.1	-2.1	+1.6	+2.2
60	-2.3	-1.6	+1.3	+1.7

■ 測定値 (N/cm²)

測点	R 反発度	含水状態補正	打撃角度補正	材齢補正	(Kg/cm ²)	(N/cm ²)
1	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 340	34.6
2	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 332	33.8
3	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 308	31.4
4	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 319	32.5
5	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 308	31.4
6	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 329	33.5
7	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 305	31.1
8	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 321	32.7
9	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 319	32.5
10	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 325	33.1
11	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 327	33.3
12	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 332	33.8
13	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 308	31.4
14	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 323	32.9
15	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 297	30.2
16	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 310	31.6
17	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 327	33.3
18	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 310	31.6
19	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 319	32.5
20	7.3	×(-1)	×(+0)	×0.60	+100 = 323	32.9
				計	6,382	650.1
				平均値	319	32.5

■ コンクリート圧縮強度 32.5 N/cm²

コンクリート強度試験票

■ 調査建物 大郷中学校 屋内運動場 ■ 日本建築学会式
 ■ 建築年 平成20年 $F_c=7.3R+100$ (Kg/cm²)
 ■ 調査位置 外壁南側 $F_c=7.3 \times (R + \text{含水状態補正} + \text{打撃角度補正}) \times \text{材齢補正} + 100$
 ■ 反発度 (R) 補正 $1N = 0.10197162$ (Kg)

含水状態補正

	気乾状態	補正值
<input checked="" type="checkbox"/>	南面気乾	+0
<input type="checkbox"/>	北面気乾	-1
<input type="checkbox"/>	圧痕黒色	+2
<input type="checkbox"/>	水掛かり	+3
<input type="checkbox"/>	準飽和	+4
<input type="checkbox"/>	湿潤	+5
	採用値	+0

打撃角度

+90	+45	+0	-45	-90

材齢補正

	材齢 (日)	補正值
<input type="checkbox"/>	10	1.20
<input type="checkbox"/>	20	1.04
<input type="checkbox"/>	28	1.00
<input type="checkbox"/>	50	0.98
<input type="checkbox"/>	100	0.95
<input type="checkbox"/>	150	0.91
<input type="checkbox"/>	200	0.86
<input type="checkbox"/>	300	0.78
<input type="checkbox"/>	500	0.70
<input type="checkbox"/>	1000	0.63
<input checked="" type="checkbox"/>	1000 以上	0.60
	採用値	0.60

打撃角度補正

反発度	傾斜角に対する補正值			
R	+90	+45	-45	-90
10	-	-	+2.4	+3.2
20	-5.4	-3.5	+2.5	+3.4
30	-4.7	-3.1	+2.3	+3.1
40	-3.9	-2.6	+2.0	+2.7
50	-3.1	-2.1	+1.6	+2.2
60	-2.3	-1.6	+1.3	+1.7

■ 測定値 (N/cm²)

測点	R 反発度	含水状態補正	打撃角度補正	材齢補正	(Kg/cm ²)	(N/cm ²)
1	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 327	33.3
2	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 316	32.2
3	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 325	33.1
4	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 319	32.5
5	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 310	31.6
6	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 323	32.9
7	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 336	34.2
8	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 327	33.3
9	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 308	31.4
10	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 345	35.1
11	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 354	36.0
12	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 336	34.2
13	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 343	34.9
14	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 340	34.6
15	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 334	34.0
16	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 329	33.5
17	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 336	34.2
18	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 349	35.5
19	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 336	34.2
20	7.3	×(+0)	×(+0.0)	×0.60	+100 = 358	36.5
					計 6,651	677.2
					平均値 332	33.8

■ コンクリート圧縮強度 33.8 N/cm²

コンクリート強度試験票

■ 調査建物 大郷中学校 屋内運動場 ■ 日本建築学会式
 ■ 建築年 平成20年 $F_c = 7.3R + 100$ (Kg/cm²)
 ■ 調査位置 外壁東側 $F_c = 7.3 \times (R + \text{含水状態補正} + \text{打撃角度補正}) \times \text{材齢補正} + 100$
 ■ 反発度 (R) 補正 $1N = 0.10197162$ (Kg)

含水状態補正

	気乾状態	補正值
<input checked="" type="checkbox"/>	南面気乾	+0
<input type="checkbox"/>	北面気乾	-1
<input type="checkbox"/>	圧痕黒色	+2
<input type="checkbox"/>	水掛かり	+3
<input type="checkbox"/>	準飽和	+4
<input type="checkbox"/>	湿潤	+5
	採用値	+0

打撃角度

+90	+45	+0	-45	-90

材齢補正

	材齢 (日)	補正值
<input type="checkbox"/>	10	1.20
<input type="checkbox"/>	20	1.04
<input type="checkbox"/>	28	1.00
<input type="checkbox"/>	50	0.98
<input type="checkbox"/>	100	0.95
<input type="checkbox"/>	150	0.91
<input type="checkbox"/>	200	0.86
<input type="checkbox"/>	300	0.78
<input type="checkbox"/>	500	0.70
<input type="checkbox"/>	1000	0.63
<input checked="" type="checkbox"/>	1000 以上	0.60
	採用値	0.60

打撃角度補正

反発度	傾斜角に対する補正值			
	+90	+45	-45	-90
10	-	-	+2.4	+3.2
20	-5.4	-3.5	+2.5	+3.4
30	-4.7	-3.1	+2.3	+3.1
40	-3.9	-2.6	+2.0	+2.7
50	-3.1	-2.1	+1.6	+2.2
60	-2.3	-1.6	+1.3	+1.7

■ 測定値 (N/cm²)

測点	R 反発度	含水状態補正	打撃角度補正	材齢補正	(Kg/cm ²)	(N/cm ²)
1	7.3 × (51.5	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	325 33.1
2	7.3 × (49.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	314 32.0
3	7.3 × (47.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	305 31.1
4	7.3 × (51.5	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	325 33.1
5	7.3 × (50.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	319 32.5
6	7.3 × (53.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	332 33.8
7	7.3 × (48.5	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	312 31.8
8	7.3 × (51.5	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	325 33.1
9	7.3 × (51.5	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	325 33.1
10	7.3 × (47.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	305 31.1
11	7.3 × (55.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	340 34.6
12	7.3 × (55.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	340 34.6
13	7.3 × (55.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	340 34.6
14	7.3 × (54.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	336 34.2
15	7.3 × (52.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	327 33.3
16	7.3 × (56.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	345 35.1
17	7.3 × (52.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	327 33.3
18	7.3 × (53.5	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	334 34.0
19	7.3 × (55.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	340 34.6
20	7.3 × (53.0	+(+0)	+(+0.0)	× 0.60	+ 100 =	332 33.8
					計	6,548 666.8
					平均値	327 33.3


■ コンクリート圧縮強度 33.3 N/cm²

b. 構造躯体以外の劣化状況等の評価


構造躯体以外の劣化状況等のは、屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価します。

i) 評価基準

■ 目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準	
	評価	基準
良好  劣化	A	概ね良好
	B	部分的に劣化（安全上、機能上、問題なし）
	C	広範囲に劣化（安全上、機能上、不具合発生のみし）
	D	早急に対応する必要がある （安全上、機能上、問題あり） （躯体の耐久性に影響を与えている） （設備が故障し施設運営に支障を与えている）

■ 経過年数による評価【内部仕上げ、電気設備、機械設備】

評価	基準	
	評価	基準
良好  劣化	A	20年未満
	B	20～40年
	C	40年以上
	D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

ii) 健全度の算定

健全度は、建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化して算定します。

i) 部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

ii) 部位のコスト配分

部位		コスト配分
1	屋根・屋上	5.1
2	外壁	17.2
3	内部仕上げ	22.4
4	電気設備	8.0
5	機械設備	7.3
計		60.0

$$\text{総和（部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分）} \div 60$$

※ 健全度は、数値が小さいほど、劣化が進んでいることを示します。

ii) 構造躯体以外の健全度の判定

構造躯体以外の健全度は以下となります。

通し番号	建物名	築年数	構造	構造躯体以外の劣化状況等					健全度
				屋根屋上	外壁	内部仕上	電気設備	機械設備	
1	校舎	33	RC	B	C	B	C	B	60
2	屋内運動場	11	RC	A	A	A	A	A	100
3	部室	22	W	B	B	B	B	B	75
4	倉庫	32	W	B	B	B	B	B	75
5	女子更衣室	22	W	B	B	B	B	B	75
6	男子更衣室	22	W	B	B	B	B	B	75
7	機械室	22	W	B	B	B	B	B	75

構造躯体以外の健全度の判定

通し番号	1				
学校名	大郷中学校	学校番号	3824	調査日	平成30年12月25日
建物名	校舎			記入者	木村 元継
棟番号	013			建築年度	昭和60年度(1985年度)
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	4,100 m ²	階数	地上 4 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水	H28	防水改修	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input checked="" type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある	3		
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input checked="" type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある	多数		
	<input type="checkbox"/> その他の屋根			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない			
	()			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	4	幅0.3mm以下の亀裂が多数存在する。 塗仕上げの汚染が多数存在する。	C
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ	多数		
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

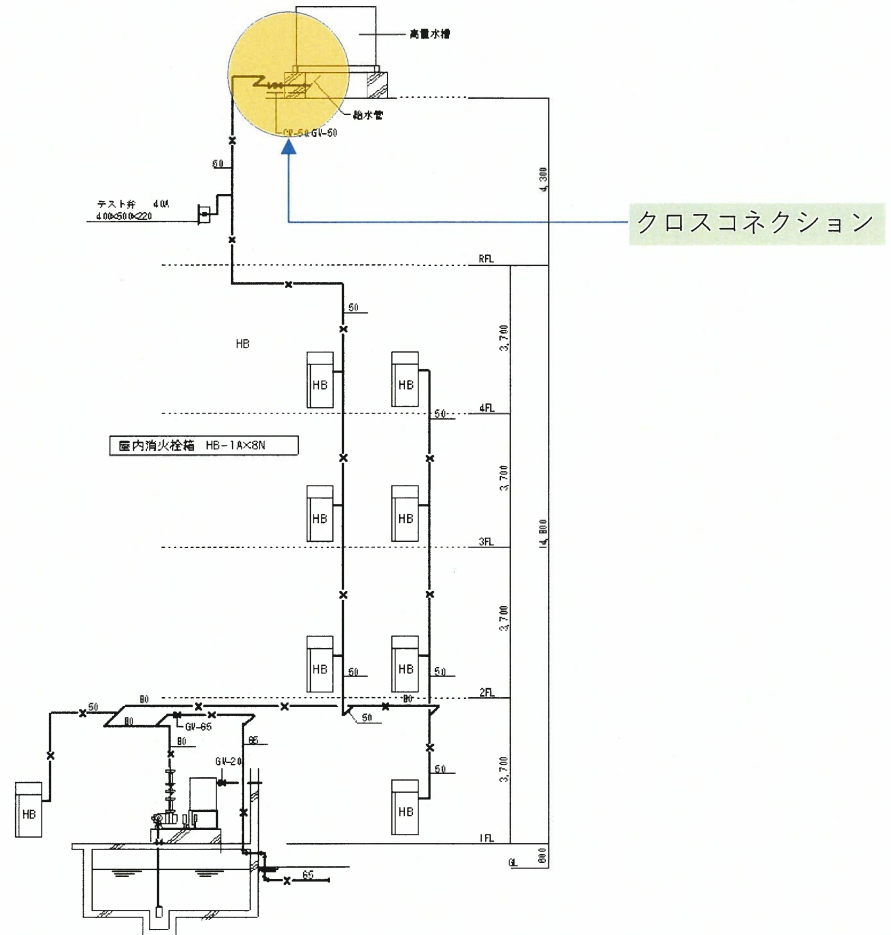
部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			C
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事	H30 自家用工作物点検	1階廊下分電盤絶縁低下	
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
60 / 100点

現地調査票

通し番号	1				
学校名	大郷中学校	学校番号	3824	調査日	平成30年12月25日
建物名	校舎			記入者	木村 元継
棟番号	013	建築年度	昭和60年度（1985年度）		
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	4,100 m ²	階数	地上 4 階 地下 階



屋内消火栓給水系統図

給水系統の不具合について

■ 不具合状況

屋内消火栓用給水系統と上水給水系統が「クロスコネクション」状態となっています。

クロスコネクション : 上水の給水・給湯系統とその他の系統が、配管・装置により直接接続される施工。

上水系統に、上水以外の水が流入し、水質汚染を発生させる可能性がある。

■ 対処

屋内消火栓用給水系統と上水系統を切り離す工事が必要となります。

構造躯体以外の健全度の判定

通し番号	7				
学校名	大郷中学校	学校番号	3824	調査日	平成30年12月25日
建物名	屋内運動場			記入者	木村 元継
棟番号	023			建築年度	平成18年度(2006年度)
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	1,600 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			A
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない			
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			A
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input checked="" type="checkbox"/> コンクリート系パネル			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の外壁 打ち放し			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			A
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			A
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			A
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
100 / 100点

構造躯体以外の健全度の判定

通し番号	2		調査日	平成30年12月25日	
学校名	大郷中学校	学校番号	3824	記入者	木村 元継
建物名	倉庫			建築年度	昭和60年度(1985年度)
棟番号	015		階数	地上 1 階 地下 階	
構造種別	木造	延床面積	33 m ²		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない			
	()			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある			B
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ			
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の外壁(サイディング)			<input checked="" type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
/ 100点

構造躯体以外の健全度の判定

通し番号	3				
学校名	大郷中学校	学校番号	3824	調査日	平成30年12月25日
建物名	部室			記入者	木村 元継
棟番号	019			建築年度	平成9年度(1997年度)
構造種別	木造	延床面積	32 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない			
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	4		C
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ	多数		
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
/ 100点

構造躯体以外の健全度の判定

通し番号	4		調査日	平成30年12月25日	
学校名	大郷中学校	学校番号	3824	記入者	木村 元継
建物名	女子更衣室			建築年度	平成9年度(1997年度)
棟番号	020		階数	地上 1 階 地下 階	
構造種別	木造	延床面積	27 m ²		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴 (部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根 (長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根 (スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない			
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	4		B
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ	多数		
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項 (改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン) 等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項 (改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
75 / 100点

構造躯体以外の健全度の判定

通し番号	5		調査日	平成30年12月25日	
学校名	大郷中学校	学校番号	3824	記入者	木村 元継
建物名	男子更衣室			建築年度	平成9年度(1997年度)
棟番号	020		階数	地上 1 階 地下 階	
構造種別	木造	延床面積	27 m ²		

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフドレンを目視点検できない			
	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	4		B
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input type="checkbox"/> 塗装の剥がれ	多数		
	<input type="checkbox"/> コンクリートパネル			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の外壁 サイディング			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある				

部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項があれば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
75 / 100点

構造躯体以外の健全度の判定

通し番号	6				
学校名	大郷中学校	学校番号	3824	調査日	平成30年12月25日
建物名	機械室			記入者	木村 元継
棟番号	022			建築年度	平成9年度(1997年度)
構造種別	木造	延床面積	33 m ²	階数	地上 1 階 地下 階

部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水			<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある			B
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ()			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレンを目視点検できない			
	<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input type="checkbox"/> 塗仕上げ			<input type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	4		B
	<input type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル			<input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ	多数		
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル			<input type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input checked="" type="checkbox"/> その他の外壁 サイディング			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
	<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			

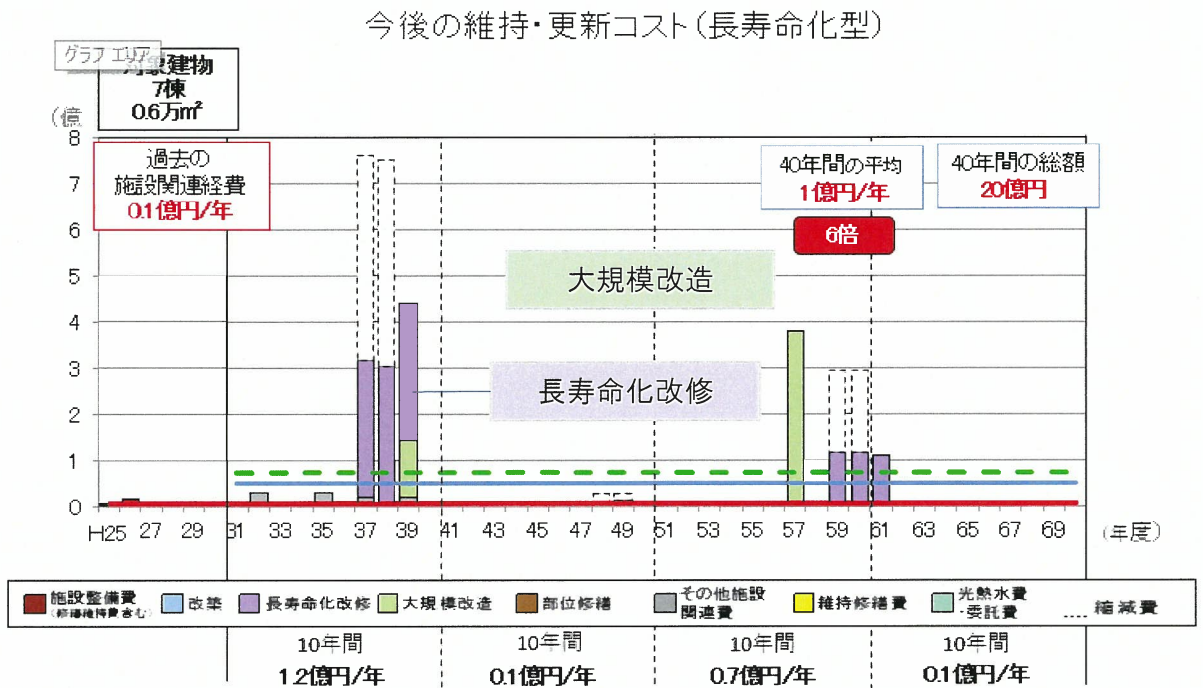
部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)	評価
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input type="checkbox"/> 老朽改修			B
	<input type="checkbox"/> エコ改修			
	<input type="checkbox"/> トイレ改修			
	<input type="checkbox"/> 法令適合			
	<input type="checkbox"/> 校内LAN			
	<input type="checkbox"/> 空調設置			
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策			
	<input type="checkbox"/> 防犯対策			
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策			
4 電気設備	<input type="checkbox"/> 分電盤改修			B
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事			
	<input type="checkbox"/> 昇降設備保守点検			
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事			
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修			B
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修			
	<input type="checkbox"/> 消防設備の点検			
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事			

特記事項(改修工事内容や12条点検、消防点検など、各種点検等による指摘事項が有れば、該当部位と指摘内容を記載)

健全度
75 / 100点

2) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

建築後40年で建替えを行うことを前提とした従来の修繕・改修方法から、長寿命化をとした修繕・改修方法へ切り替えていくためには、計画的に機能向上と機能回復に向けた修繕・改修を、建物全体でまとめて実施する必要があります。



学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省 平成29年3月）添付ソフトによるコスト算出

(4) 学校施設整備の基本的な方針等

① 学校施設の規模・配置計画等の方針

1) 学校施設の長寿命化計画の基本方針

公共施設等総合管理計画の基本方針

■ 計画的な管理に関する基本認識（大郷町公共施設等総合管理計画平成29年3月）

a. 厳しさを増す財政状況への対応

過去5年間の町税は、10億円から11億円程度でほぼ一定していますが、年齢人口の減少に伴い、今後の税収減少が懸念されます。

公共施設の維持管理及び運営においては、限られた財源で効果的な投資を行い、必要な機能の維持を図る必要があります。

b. 人口減少・少子高齢化社会への対応

本町の人口は、昭和60年の10,465人をピークに減少傾向にあり、平成52年には7,136人まで減少すると推計されています。

今後の町の人口構成の変動に伴う町民ニーズの変化に対応した、適正な公共施設の総量や規模、機能の再変成を検討していく必要があります。

c. 施設の老朽化への対応

本町の公共施設は、建築後30年以上経過した建物が51.0%あり、また、後10年以内に大規模改修が必要となる建築後20～29年の建物を含めると全施設の69.5%が大規模改修が必要となります。これらの建物に対して、従来と同様に大規模改修・建替え等への投資を継続すると、町の財政、行政サービス（機能維持）に重大な影響を及ぼす可能性があります。

この状況を回避するためには、大規模改修・建替え等にかかる費用を全体的に抑え、年度毎の支出を平準化させるとともに、中長期的な視点による計画的・戦略的な公共施設の再編成・管理に取り組む必要があります。

今後は、計画的・戦略的な公共施設管理を推進するため、各種の情報を一元管理し、より効率的な管理・運営を推進する組織体制を構築する必要があります。

■ 公共施設等の管理に関する基本的な考え方

公共施設の管理に関しては、地域の特性や住民ニーズを勘案したうえで、以下の3つの視点を重視し、町民が必要とする行政サービスの維持・向上を図ります。

視点1 供給量の適正化を推進します。

- ・ 公共施設のコンパクト化
(複合化・集約化・廃止及び取壊し等)
- ・ 施設総量（延床面積）の縮減
- ・ 維持継続する施設の長寿命化

視点2 既存施設の有効活用を図ります。

- ・ 計画的な修繕・改善による品質の保持と機能の改善

視点3 効率的な管理・運営を推進します。

- ・ 情報一元管理のための管理システムの構築
- ・ 全庁的な推進体制の確立
- ・ 民間活力の導入

■ 基本方針

a. 供給に関する基本方針

i) 施設総量の適正化

町の上位計画（総合計画等）や重点施策との整合性、住民ニーズ等を踏まえながら、人口等の社会環境の変化や財政状況、費用対効果を勘案し、必要なサービスの水準を確保しつつ施設総量の適正化を推進します。

ii) 施設機能の複合化等による効率的な施設の配置

住民サービスを継続する上で廃止できない施設やサービス需要増大等に対するための施設は、周辺施設の立地や利用者状況を踏まえながら、機能の複合化や更新等により、効率的な施設の配置及びニーズの変化への対応を検討します。

b. 品質に関する基本方針

i) 予防保全の推進

日常点検、定期点検を実施し、劣化状況の把握に努めるとともに、点検結果を踏まえた修繕や小規模改修の実施により予防保全に努めます。

ii) 計画的な長寿命化

建築年代の古い施設については大規模修繕の検討と併せ、長期的な修繕計画の策定や点検等の強化などにより、計画的・適切な維持管理を推進し、必要に応じて施設の長寿命化を推進します。

c. 財務に関する基本方針

i) 維持管理費用の適正化

現状の維持管理にかかる費用や需要等の費用対効果を分析し、維持管理費用や施設利用料等の適正化を図ります。

ii) 費用の縮減と平準化

大規模改修・建替え等の費用の縮減と更新時期の集中化を避けることにより、財政支出の縮減と平準化を図ります。

iii) 民間活力の導入

施設の整備や管理・運営において、指定管理者制度をはじめとする民間活力の導入を進め、財政負担の軽減とともに行政サービスの維持・向上を図ります。

■ 具体的な取組方策

a. 点検・診断等の実施方針

公共施設を建設時期によって、建物を3段階に分類し、それぞれにおける点検・診断の実施方針を整理します。

建築時期による建築物の分類

	建築物の分類	要件
①	旧耐震基準適合建築物	昭和56年以前の旧耐震基準で建築された施設
②	新耐震基準適合建築物（前期）	新耐震基準に適合するが、建築後16年以上経過した施設
③	新耐震基準適合建築物（後期）	新耐震基準に適合し、建築後15年以内の施設

i) 旧耐震基準適合建築物

本町における特定建築物（「建築物の耐震改修の促進に関する法律」第14条に規定する”多数の者が利用する特定建築物”）の耐震化率は100%となっています。今後も、機能の健全な維持を図るため、定期的な点検を行います。

ii) 新耐震基準適合建築物（前期）

昭和50年代に建築された施設は、建築後概ね30年が経過しており、既に大規模改修の実施時期を迎えています。

施設の劣化状況の把握に努めるとともに情報の一元管理を図り、大規模改修の実施を検討します。

iii) 新耐震基準適合建築物（後期）

建築後の経過年数が短く、高い耐震性能を有しているため、日常点検、定期点検の実施により、施設の劣化状況の把握に努めます。

b. 維持管理・修繕・更新等の実施方針

部位・部材等の修繕周期及び建築時期による建築物の耐震性能分類を勘案し適切な時期に修繕を実施することで機能の維持に努めます。

施設の更新にあたっては、人口の動向や住民ニーズ、周辺施設の立地状況等を踏まえた適正な規模を想定したうえで、機能の複合化や減築を検討し、効率的な施設の配置を目指すとともに、省エネ対応機器の導入等トータルコストの縮減に努めます。

c. 安全確保の実施方針

日常点検や定期点検により、施設の劣化状況の把握に努めます。さらに、公共施設は、災害時に避難所等となることを想定し、点検結果をデータベース化し、危険性が認められた場合、計画的な維持補修や更新に努めるほか、ユニバーサルデザイン化の推進により、機能の維持、安全性の確保を図ります。

老朽化により供用廃止された施設については、周辺環境への影響を考慮し、施設の取壊しや除去などにより、安全性の確保を図ります。

d. 耐震化の実施方針

機能の健全な維持を図るため、定期的な点検を行います。

e. 長寿命化の実施方針

ライフサイクルコストの縮減が見込まれる建物については、定期的な大規模改修を実施することで、建築後80年間の供用を目指します。

建物の劣化に対しては、定期点検や予防保全の結果を踏まえて計画的な改修を実施することで、劣化の進行を遅らせ、維持管理費用の平準化を図ります。

f. 複合化・集約化・廃止等の推進方針

既存施設の空きスペースの活用、近隣市町村との施設相互利用、代替サービスの検討により、施設の複合化・集約化や廃止を進め、施設総量（面積）のコンパクト化を図り、維持管理費の縮減を目指します。

g. 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

i) 町民との情報共有と協働体制の構築

町の財政状況や公共施設の保有状況について広報し、町民との協働によって、公共施設の維持管理を行います。

ii) 民間活力の活用体制の構築

PPP^{※1}やPFI^{※2}の導入を検討し、民間企業の資金やノウハウを活用して、業の効率化や行政サービスの充実を図ります。

※ PPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ）

公民が連携して公共サービスの提供を行う枠組み

※ PFI（プライベート・ファイナンス・イニシアティブ）

公共工事等の設計・建設・維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと

iii) 庁内における意識啓発

職員を対象とした研修会等を実施し、マネジメント意識の共有を図ります。

2) 学校施設の規模・配置計画等の方針

公共施設等総合管理計画の施設類型別方針【学校】

a. 義務教育施設に対する基本的方針

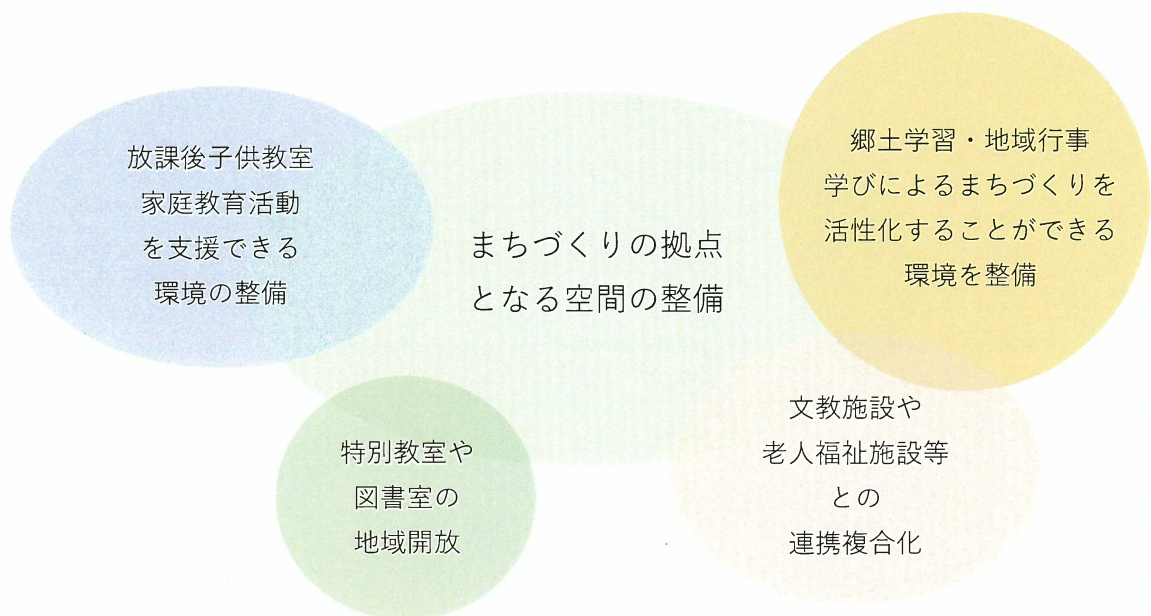
「大郷町公共施設等総合管理計画」（平成29年3月）による義務教育施設の管理に関する基本的方針は以下の通りです。

施設用途	現状	施設管理に関する基本方針
義務教育施設	<ul style="list-style-type: none"> 延床面積ベースで約6割が築30年以上となっています 	<ul style="list-style-type: none"> 長期的な修繕計画の策定や点検を行うことにより、長寿命化に実施及び予防補修を図ります
	<ul style="list-style-type: none"> ほぼすべての建物について、耐震性を有していると判断されています 	

b. 今後の学校施設の活用方針

大郷町は、生徒数の減少にあわせて、平成20年に旧明星中学校と旧大沢中学校を統合して大郷中学校を開校し、町の所有する中学校は1校となっています。

統合以降、生徒数の減少傾向はなくなり、ほぼ一定数を確保していることから、さらなる減築等の学校規模の変更は検討すべきではないと考えられ、今後は、建物の建物の長寿命化を図りながら、地域の核となるべく種々の施策により施設の有効活用を図ることが必要となります。



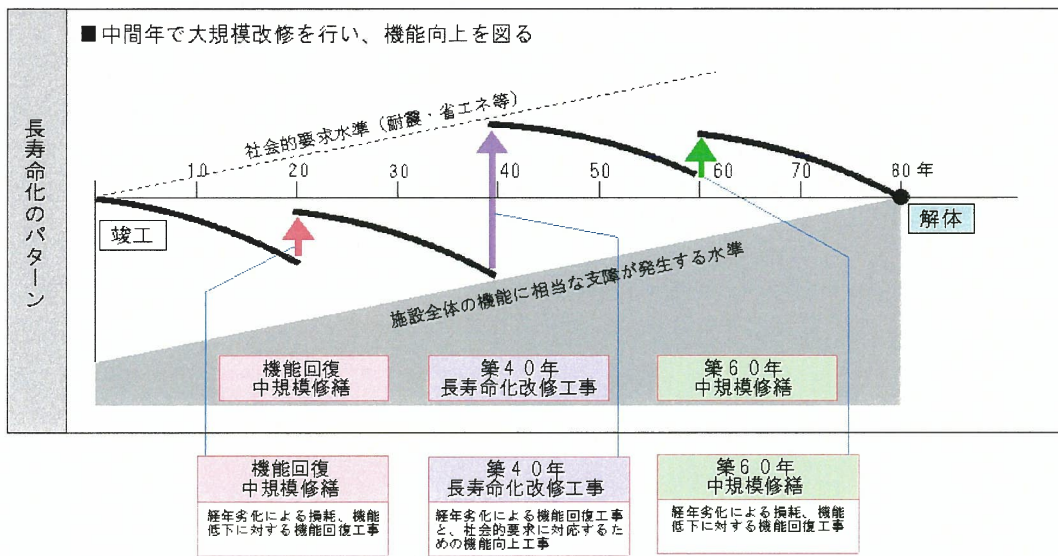
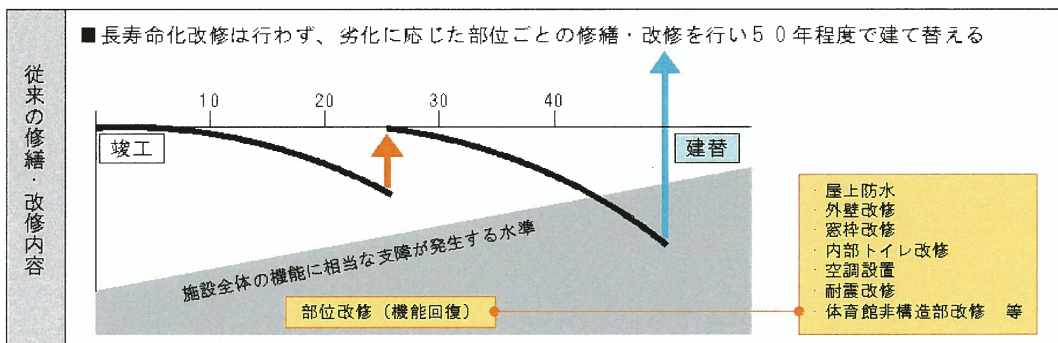
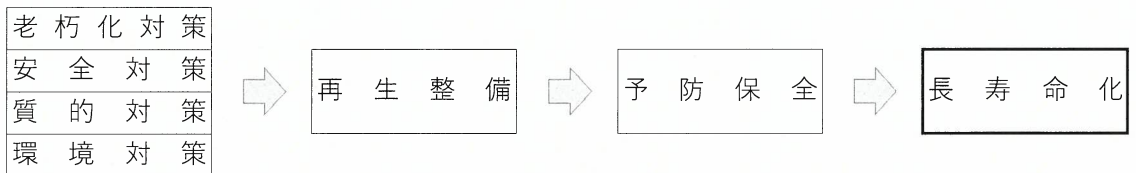
② 改修等の基本的な方針

1) 長寿命化の方針

建築後40年で建替えを行うことを前提とした従来の修繕・改修内容から、コンクリート躯体の耐用年数相当時期まで、建物を使用することを前提とする長寿命化のパターンへ切り替えを行います。

長寿命化のパターンにおいては、施設全体の機能に相当な支障が発生する水準まで施設機能が低下する前に、再生整備（機能回復修繕、長寿命化改修）や予防保全を実施することで、施設機能を一定水準に確保しながら、建て替えまでの期間を延長することが可能となります。

再生整備や予防保全では、内外装改修や設備改修などの老朽化対策、内装の木質化やトイレの快適化などの環境対策を計画的に実施することとし、それにより学校教育環境を早急かつ効率的な改善、長寿命化の推進、財政支出の縮減及び平準化を実施します。



(5) 基本的な方針等を踏まえた施設整備の水準等

① 現行の仕様

校舎及び屋内運動場の部位別仕様を以下に示します。

部位別現行仕様		校舎	屋内運動場	
概要	建築年度	昭和60年	平成19年	
	延床面積(m ²)	4,100	1,600	
	階数	4階	2階	
	構造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造	
外部	屋上	仕上げ (勾配屋根部) 長尺カラー鉄板瓦棒葺 t-0.4 アスファルトルーフィング22Kg 均しモルタル t-15 コンクリート金鍍 (陸屋根部) ウレタン塗膜防水 コンクリート金鍍	カラーガルバリウム鋼板 t-0.8	
		断熱	押出発泡スチロール打込 t-25	グラスウール保温板 t-25
	外壁	仕上げ 吹付タイル コンクリート打放	1階:コンクリート打放+浸透性撥水材 2階:押出中空セメント板 t-30	
		断熱	押出発泡スチロール打込 t-25	グラスウール保温板 t-50
	開口部	サッシ	引違いアルミサッシ	アルミサッシ
		ガラス	トーマイ 5.0mm	スクールテンパ 4.0mm
	外部天井	フレキシブル板 t-5 吹付タイル	-	
	外部その他 (庇・バルコニー)	リシン吹付	-	
	内部	床 仕上げ	フローリングブロック t-15 モルタル金鍍	大型積層フローリング t-18 塩ビシート
		壁 仕上げ	巾木:木製OP h-100 壁:合板 t-6 OP	積層材 h-150 白ラワン合板 t-4
天井 仕上げ		化粧石膏ボード t-9	屋根裏現し	
内部開口部		木製引違い戸	スチールドア	
内部その他		-	-	
設備	照明器具	FL40W×2	EF400W×1	
	給排水設備	給水方式	高置水槽方式(市水)	高置水槽方式(市水)
		給湯方式	-	-
		排水方式	し尿浄化槽	し尿浄化槽
	空調方式	冷暖房	直接暖房(燃料直焚・電気)	-
消火設備		屋内消火栓	屋内消火栓	

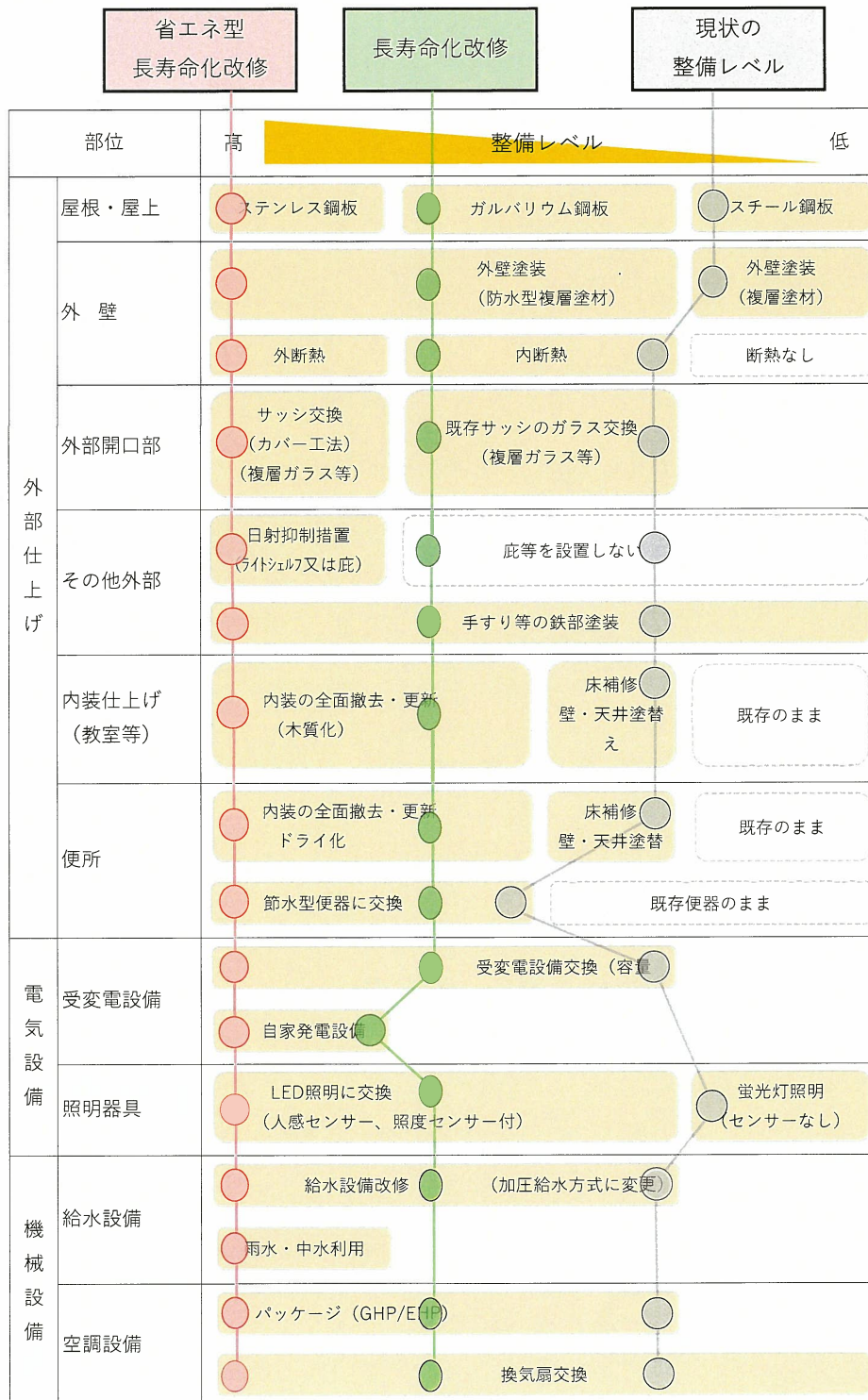
部位別現行仕様		部室	倉庫	
概要	建築年度	平成8年	昭和61年度	
	延床面積(m ²)	33	33	
	階数	1階	1階	
	構造	木造	木造	
外部	屋上	仕上げ	長尺カラー鉄板瓦棒葺 t-0.4 アスファルトルーフィング22Kg	長尺カラー鉄板瓦葺 t-0.4 アスファルトルーフィング22Kg
		断熱	-	-
	外壁	仕上げ	金属系複合サイディング	金属系複合サイディング
		断熱	-	-
	開口部	サッシ	引違いアルミサッシ	引違いアルミサッシ
		ガラス	網入ガラス t-6.8	網入ガラス t-6.8
	外部天井	-	-	
	外部その他 (庇・バルコニー)	ケイ酸カルシウム板 t-5 VP	ケイ酸カルシウム板 t-5 VP	
内部	床	仕上げ	コンクリート金鍍押さえ	コンクリート金鍍押さえ
	壁	仕上げ	コンクリート打放補修	コンクリート打放補修
	天井	仕上げ	化粧石膏ボード t-9.5	化粧石膏ボード t-9.5
	内部開口部	-	-	
	内部その他	-	-	
設備	照明器具	FL40W×1	FL40W×1	
	給排水設備	給水方式	-	-
		給湯方式	-	-
		排水方式	-	-
	空調方式	冷暖房	-	-
	消火設備	-	-	

部位別現行仕様		プール		
概要	建築年度	平成8年		
	延床面積(m ²)	87		
	階数	1階		
	構造	木造		
外部	屋上	仕上げ	長尺カラー鉄板瓦段葺き t-0.4 アスファルトルーフィング22Kg	
		断熱	-	
	外壁	仕上げ	金属系複合サイディング	
		断熱	-	
	開口部	サッシ	引違いアルミサッシ	
		ガラス	網入ガラス t-6.8	
	外部天井		-	
	外部その他 (庇・バルコニー)		ケイ酸カルシウム板 t-5 VP	
	内部	床	仕上げ	コンクリート金鋳押さえ
		壁	仕上げ	コンクリート打放補修
天井		仕上げ	化粧石膏ボード t-9.5	
内部開口部		-		
内部その他		-		
照明器具		FL40W×2		
設備	給排水設備	給水方式	水道直結方式	
		給湯方式	-	
		排水方式	下水道直放流	
	空調方式	冷暖房	-	
消火設備		-		

② 改修等の整備水準

長寿命化において配慮すべき性能に対して、各部の整備レベルを設定し、費用対効果を考慮して、最適な仕様を設定します。

配慮すべき性能	施策	
学習環境	■ 多様な学習空間の構築	■ ICT設備の充実
生活環境	■ トイレのドライ化	■ 生活空間の木質化
省エネ環境	■ 太陽光発電設備設置	■ LED照明設置
	■ 高断熱化	
機能環境	■ 多目的トイレ設置	■ バリアフリー改修
防災・防犯環境	■ 自家発電設備設置	■ 監視設備設置



③ 維持管理の項目・手法

建築物の機能を長期にわたり最大限発揮できるように、経年による建築物の影響が大きい部位については計画的な予防保全を基本とし、経年による機能的な劣化が少ないと考えられる部位（内装等）については事後保全として必要に応じてその都度改修するものとします。

凡例

時間計画保全とすべき	◎
時間計画保全が望ましい	○
事後保全で構わない	●

部位毎の計画更新年数と保全分類

学校施設（校舎）								
部位	摘要	法定耐用年数		修繕周期		計画更新年数		保全
構造躯体（RC）		65	年	20	年	65	年	—
屋根	長尺金属板葺き	65	年	5	年	30	年	◎
屋根	ガルバリウム鋼板葺き	65	年	5	年	30	年	◎
屋上防水	塗膜防水	50	年	5	年	20	年	◎
	シート防水	50	年	5	年	20	年	○
笠木	アルミ笠木	50	年	—	年	40	年	●
	モルタル笠木	50	年	5	年	30	年	●
外壁	吹付タイル	50	年	10	年	20	年	○
	シーリング	50	年	—	年	15	年	○
	アルミ建具	50	年	5	年	40	年	○
受変電設備		15	年	10	年	25	年	◎
電気設備		15	年	10	年	20	年	●
浄化槽		10	年	7	年	30	年	○
高置水槽		15	年	10	年	30	年	○
給排水・衛生	水洗等	15	年	3	年	15	年	○
	配管類	15	年	—	年	30	年	○
	衛生陶器類	15	年	10	年	30	年	○
内装	床フローリング	50	年	10	年	30	年	●
	壁ボードEP	50	年	10	年	30	年	●

部位毎の計画更新年数と保全分類

学校施設（屋内運動場）								
部位	摘要	法定耐用年数		修繕周期		計画更新年数		保全
構造躯体（RC）		65	年	20	年	65	年	—
屋根	（長尺金属板）	65	年	5	年	30	年	◎
外壁	（シーリング）	50	年	—	年	15	年	○
	（アルミ建具）	50	年	5	年	40	年	○
	（長尺金属板）	65	年	5	年	30	年	◎
電気設備		15	年	10	年	20	年	●
給排水・衛生	水洗等	15	年	3	年	15	年	○
	配管類	15	年	—	年	30	年	○
	衛生陶器類	15	年	10	年	30	年	○
内装	（床フローリング）	50	年	10	年	30	年	●
	（壁ボードEP）	50	年	10	年	30	年	●

部位毎の計画更新年数と保全分類

学校施設（プール）								
部位	摘要	法定耐用年数		修繕周期		計画更新年数		保全
屋根	（長尺金属板）	65	年	5	年	30	年	◎
外壁	（シーリング）	50	年	—	年	15	年	○
	（アルミ建具）	50	年	5	年	40	年	○
ろ過機		30	年	5	年	25	年	○

部位毎の計画更新年数と保全分類

学校以外施設								
部位	摘要	法定耐用年数		修繕周期		計画更新年数		保全
屋根	（長尺金属板）	65	年	5	年	30	年	◎
外壁	（シーリング）	50	年	—	年	15	年	○
	（アルミ建具）	50	年	5	年	40	年	○
電気設備		15	年	10	年	20	年	●
給排水・衛生		15	年	—	年	25	年	○

(6) 長寿命化の実施計画

① 改修等の優先順位付けと実施計画

1) 建物別の優先順位

大郷中学校の建物のうち、校舎が建築後33年を経過し最も古く、かつ、過去において大規模な修繕や改修を行っていないため、改修等の実施は優先的に校舎から行うこととします。屋内運動場は建築後11年と新しく、その他の部室や倉庫等は木造の小規模な建物であるため、当面は、通常の維持修繕のみを行うこととし、校舎の機能回復を行った後に、大規模な修繕等を行うこととします。

建物別の優先順位

建物名	構造	階数	延床面積	建築		建築年度		築年	改修等の優先順位	
				西暦	和暦	西暦	和暦			
校舎	RC	4	4,100	1986	S61.02	1985	S60	33		1
倉庫	W	1	33	1986	S61.08	1986	S61	32		2
部室	W	1	32	1997	H09.03	1996	H8	22		3
ブ	女子更衣室	W	27	1997	H09.03	1996	H8	22		4
ル	男子更衣室	W	27	1997	H09.03	1996	H8	22		
ル	機械室	W	33	1997	H09.03	1996	H8	22		
屋内運動場	RC	2	1,600	2008	H20.03	2007	H19	11		5

2) 整備内容別の優先順位

現況調査の結果、すべての建物において、建物の耐久性に大きな影響を与える屋根や外壁の劣化の進み具合以上に、建物利用者が直接不快を感じる事となる部分に、多くの機能低下が見受けられたため、屋根や外壁の修繕・更新工事の実施に先立ち、生活環境の機能回復優先として改修等を計画します。

整備内容別の優先順位

評価	整備効果		工事名	計画年度	改修等の優先順位	
早急な対応が必要な改善	空気環境改善	温暖化対策	エアコン設置工事	H31		1
	衛生環境改善		給水系統改善工事	H31		
	機能回復		階段床改修工事	H31		
	機能回復		放送設備改修工事	H31		
	衛生環境改善	長寿命化	トイレ改修工事	H32		2
更新周期対応	更新周期		キュービクル更新工事	H32	3	
C評価	機能回復		外壁等改修工事	H34	4	

3) 同時に修繕・更新等を行うことが合理的な工事種目

ある部位・設備の修繕・更新を行う際に、外部足場など費用が大きい仮設が必要な場合や、壁・天井の取り外し・再取り付けを行いその内部の配管等を修繕・更新する場合等にあっては、直接の修繕・更新対象以外の、ある程度劣化が進行している他の部分を同時に修繕・更新を行った方が工事施工や経済的に合理的な場合があります。比較的大規模な修繕工事において、修繕・更新対象となる主な部位・設備と関連して同時に修繕・更新を行うことが合理的であると考えられる部位の修繕・更新内容を下表に示します。同時施工の実施については、その部位の劣化状況、次回の修繕・更新時期または、費用の確保が可能かどうか等について総合的に検討を行い、適宜判断すべきものとします。

主な修繕工事と関連部位・機器等の例

部位・設備等	主な修繕工事	同時に措置した方が良い部位・設備等の例	効果
外壁	仕上げ改修 各部塗装 外壁吹付 タイル張替え等	シーリング 外部建具 笠木 樋 断熱材	足場等仮設物が共有できるため経済的に有利
	クラック補修	シーリング	
	浮き補修	外部建具 笠木	隣接部位同時施工することで合理的な施工が可能
	建具改修（サッシ、カーテンウォール等）	シーリング	
屋根	防水改修	排水溝 ルーフドレン 笠木 屋上手すり 設備架台 断熱材	施工対象部分の周辺部位を一時撤去するなどの無駄を削減できる
電気設備	受変電設備改修	分電盤 変圧器 コンデンサ 幹線	
空調設備	冷暖房設備（ファンコイル、空調機）改修	ポンプ 冷却塔 配管等 屋上防水	同一系統部分を総合的に品質管理することができる
	熱源改修	配管等	
給排水衛生設備	給排水設備改修	ポンプ 受水槽配管 冷温水管	

4) 直近5年の整備計画 (H31~H35)

直近5年の個別施設の整備計画 (H31~H35)

(千円)

事業名称	2019		2020		2021		2022		2023	
	H31		H32		H33		H34		H35	
	棟名	事業費	棟名	事業費	棟名	事業費	棟名	事業費	棟名	事業費
施設整備費										
新增築事業										
改築事業										
耐震化事業										
長寿命化改修										
大規模改造(老朽)										
防災関連事業										
トイレ整備	校舎	5,500	校舎	105,120						
空調整備	校舎	77,500								
障害児等対策										
特別支援学校の整備										
部位修繕	校舎	10,288	校舎	0	校舎	9,070	校舎	140,607	校舎	5,242
	屋内運動場	19	屋内運動場	199	屋内運動場	0	屋内運動場	19	屋内運動場	1,069
	プール	0	プール	0	プール	0	プール	0	プール	0
	部室	0	部室	0	部室	0	部室	0	部室	0
	倉庫	0	倉庫	0	倉庫	0	倉庫	0	倉庫	0
計		93,307		105,319		9,070		140,626		6,311
その他施設整備費		3,656		25,834		840		4,361		26,003
維持補修費		950		950		950		950		950
光熱水費・委託費		4,440		4,440		4,440		4,440		4,440
合計		102,353		136,543		15,300		150,377		37,704
年平均						73,713				

(百万円)

直近の整備計画

